

かくてんぼう隊の 養成と派遣事業

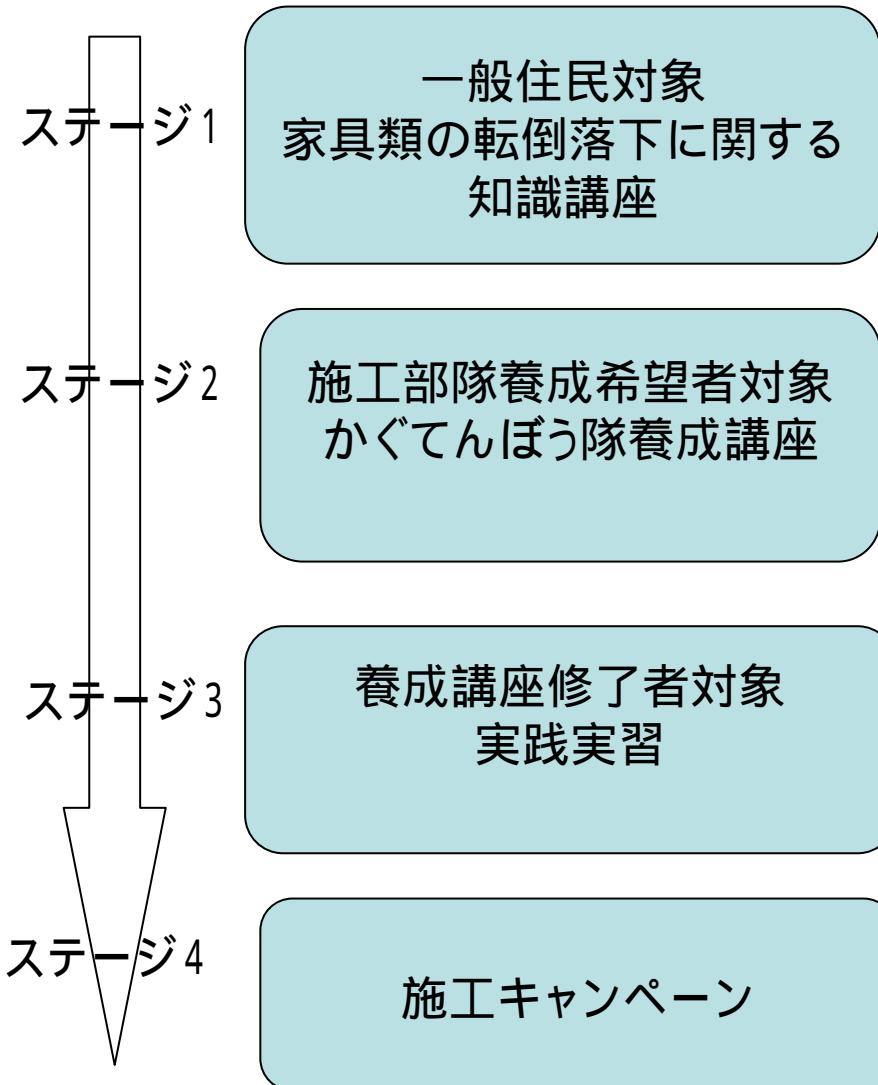


わがやネット

福祉住環境コーディネーター中部推進協議会

活動概要

かぐてんぼう隊の養成と派遣事業



第一章 わがやネットの活動から
第二章 学生部隊の養成と施工
第三章 社会人部隊の養成と施工
第四章 普及活動
第五章 継続運営のために

第1章

「わがやネット」と「かくてんぼう隊」



- ・福祉住環境コーディネーター合格者の集まり。
- ・高齢者の住環境整備について研究している。
- ・2000年に発足。
- ・活動は、NHK「オトナの試験」に紹介される。
- ・2004年に代表が名城大学大学院に入る。
「在宅支援とまちづくり」に関する研究を開始。



デイサービスの環境
チェックをしているところ
です。高齢者本人や、介
助者が使いやすい環境
を整えるためのアドバイ
スを行っています。

住環境整備の評価と
地域住民が手すりを取り
付けることができる技術
指導を目指しています。



家庭内事故を防止するため

- 手すりの取り付け
- 段差の解消
- 火災報知器の取り付け

時間を気にせず丁寧に話を聞きながら作業をする職人を独居老人から喜ばれた

高齢者の職人
会社を卒業したヤングシニア

2002年4月から
トライアル開始。

きっかけは、



わしらは、家具の
下敷きになって死
ぬのか! ?



大学教授から
の
何か社会貢献
活動を考えて
くれないか?



今まで関わってき
た介護保険制度
利用の利用者さ
ん達の顔

第2章

かぐてんぼう隊の誕生



学生部隊の養成と 施工キャンペーンの実施

「学生に家具や建物の**下地の知識**や家具固定の方法を指導する必要がある」と考えた。

家具固定の方法はどのような方法で、効果はどうか調べなくては

同窓会の先輩へ連絡
「先輩！**施工指導**ができる先輩を紹介して下さい」

現場実習をやらないと感覚が分からないな…。

ネーミングを考えた方がいいかな

2004.11

研修を行い 隊員として
ことを提案する

東京消防庁の方が、NHK「ご近所の底力」に出演された。上京し、**指導**を受けた。

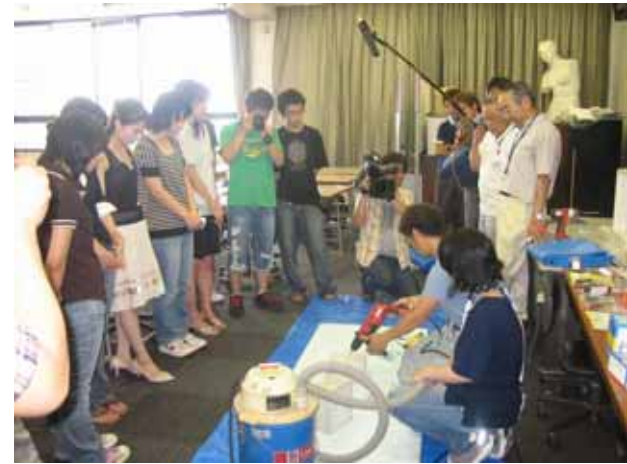
2004.12

同窓会の**先輩が講師**となって家具固定の研修会を開催

立川先生宅、学生宅で実践実習を行った = 基本は「**自助**」
学生達に家族を説得してもらい自宅を実習の場とさせてもらった

家具が転倒するのを予防する部隊として「**かぐてんぼう隊**」と命名

かぐてんぼう隊養成研修 (学生部隊)



学生たちは、
かぐてんぼう隊の研修修了
晴れて
正隊員になりました。

活動日：毎週土曜日



次は現場経験をする必要があるかな…

活動を行う上で、トラブルが発生しないように危機管理をチェックする必要があると思いました。

傷害保険の確認や、弁護士さんと相談し、トラブル回避のための書類を作りました。

費用は立川先生から「頂いてはいけません」と言われましたが、金物代だけでも…

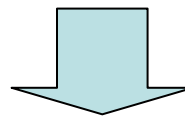
以前、面識のあった天白区平針北学区の学区長さんに相談した。

学区長さんから、平針北学区の民生委員長さんをご紹介頂いた。

平針北学区の民生委員さん10人が担当の高齢者宅へPRして下さいました。

30件、施工することになった。

2005.1.17から第一回施工キャンペーンを開始した。



朝日、中日、毎日新聞
NHK、名古屋テレビ、中京テレビで紹介された。

施工キャンペーン



第一回キャンペーンを行った反省

施工を行うことで目一杯だったため、

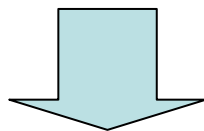
- 利用者の「感謝」の言葉を学生達に聞かせてあげられなかった **活動のやりがい、喜びへ**
- 利用者との会話の時間を取ることができなかった **コミュニケーションから見守りへ**
- マスコミ報道で、100件近い問い合わせがあった **地域住人の施工部隊の必要性**
- 事前調査と必要金物の準備について検討課題となった **円滑な施工**

課題の解決 活動の目的へ

研修に参加した受講生は自分の家を施工する **自
助**

地域住民が主体となり施工部隊を結成 **共助** 生
きがい、やりがい **生涯現役** **手すりの取付等簡
易工事**

学生が利用者に喜ばれる やりがい教育
インターンシップ



家具の転倒予防対策を通して
持続可能な防災と福祉のまちづくり
をめざしていく

1年後のアンケート調査 実施：2006年11月

第一回施工キャンペーンIN平針北学区

施工した25件を対象に

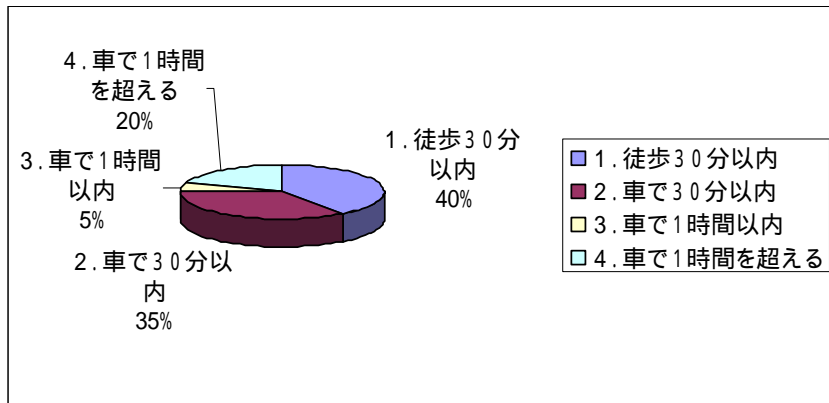
聞き取り調査を行った。

そのうち、アンケート回答者 20名

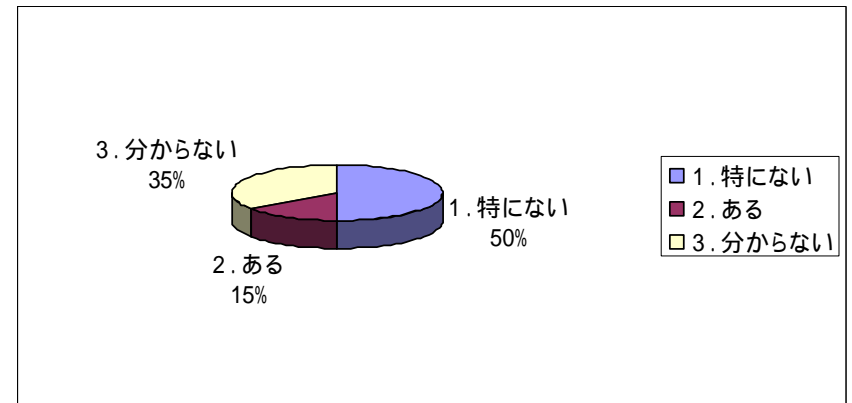
・平均年齢 74.67歳

・性別 女性

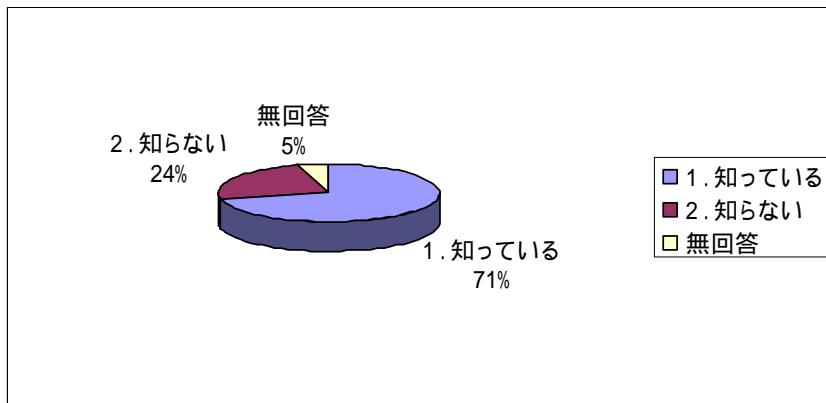
災害時において親族がすぐ来れるところにありますか？



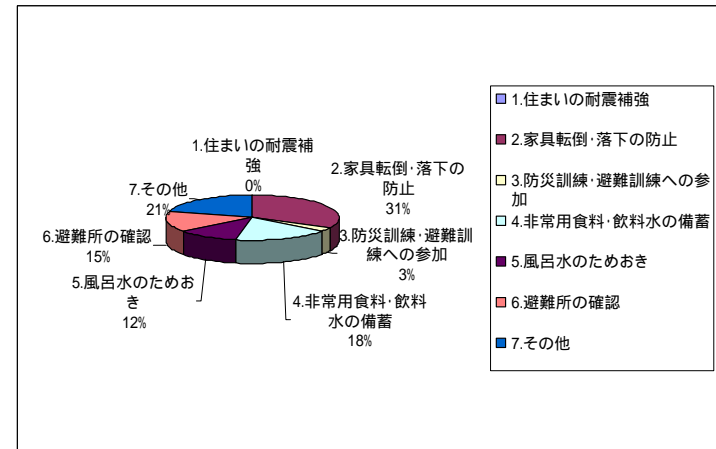
避難場所はどこかっていますか？



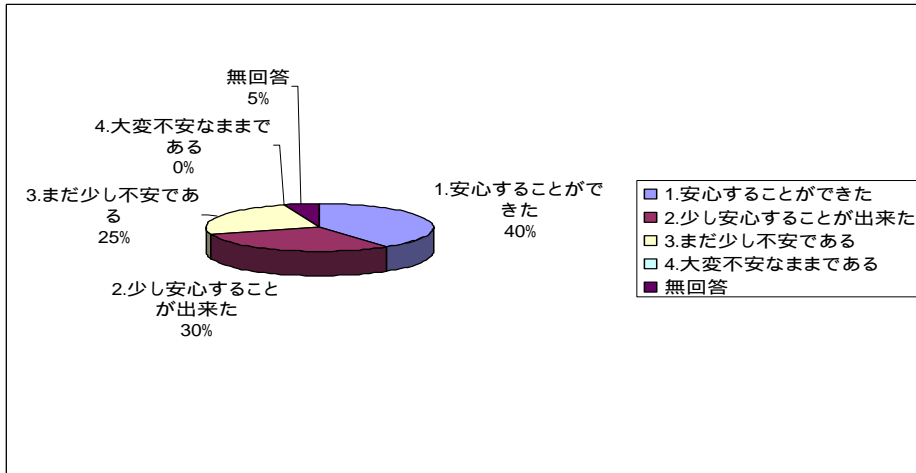
避難所に行くまでに危険と感ずるところはありますか？



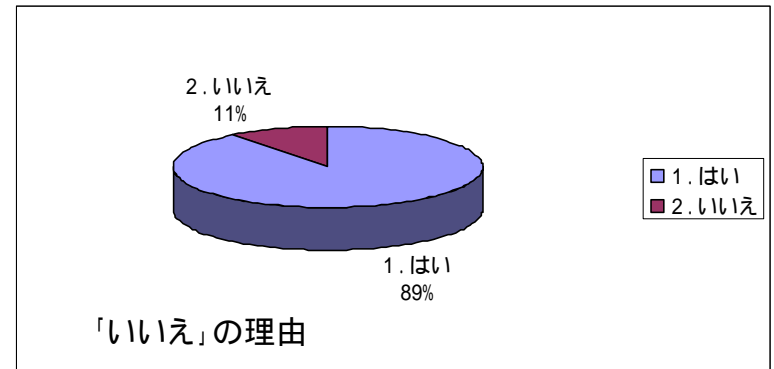
ご自宅でされていた防災対策方法を教えてください



かくてんぼう隊により地震に対する不安は
どれくらい軽減できたでしょうか？

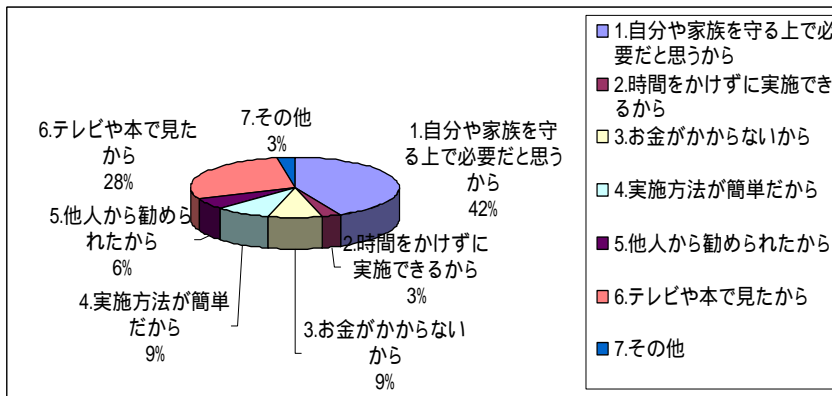


かくてんぼう隊をほかにも勧めたい
ですか？



知り合いがいないから 家庭の事情があるから

家具固定の必要性は何で感じましたか？



施工に対する満足度は？

89.5%

冷蔵庫・テレビ等は出来ていないのでやりたい
家具の移動等
まだ固定してほしい家具がある

学生部隊の課題

- 学生は卒業していく。後輩へバトンタッチとするためにクラブ活動として持続できるようにしたい。
- ノルマ的に「こなす」のではなく、学生に責任を持たせ、学生が考えながら開拓していくように指導していきたい。
- OBは、サポーターとして施工の技術指導にあたってもらいたい。
- 決して、上からの命令で動かしてはいけない。

防災フェア



第3章 愛知県 持続的防災まちづくり企画提案事業 2005年

地域に根ざし
た活動とする
ために



かぐてんぼう隊養成研修の内容確立 とテキストの編集



主な内容

隊員としてのマナー
建築下地の種類
家具の種類
固定の種類と方法
労働災害の防止対策
など

トータルグッズ
60アイテム(研修用)

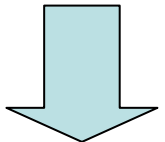
この他グループごとに
簡易BOXを3セット用意



名城大学鈴木博志研究室
電動ドライバー4台・電動ドリル2台購入

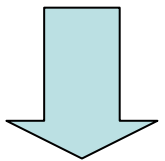
養成研修と施工キャンペーン の流れを確立

地域でのかぐてんぼう隊
養成講座の開催(講義 + 実習)

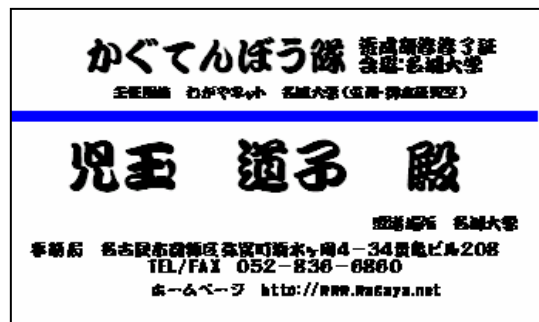


ボランティア保険に加入

実践実習



施工キャンペーン



修了証の発行



隊員証の発行

地域での
施工キャンペーンを開催

かぐてんぼう隊養成研修 (社会人部隊)



かぐてんぼう隊養成研修と派遣事業

主に社会人を対象(学生隊員は講師サポート)

3. 養成研修と実践実習

2005.8

養成研修:防災ボランティアコーディネーターの方々が参加して下さいました。

実践実習:天白区東山イースト(分譲マンション)

2006.2

守山区社会福祉協議会との協働事業

かぐてんぼう隊養成研修を開催

主な参加者:地域住人、守山区防災ボランティアネットワークの方々、わがやネット会員



社会人部隊はキャンペーンで施工





実践実習
守山区白山住宅
受講生宅
鉄筋コンクリート造共同住宅

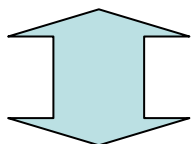


施工キャンペーンの流れ

利用者
申込み

守山区社会福祉協議会

連携



家具固定
委託契約

わがやネット登録
かくてんぼう隊
(地域隊員)

施工

調査日 日程調整

利用者宅
現地調査

家具、建物下地確認
取り付け方法説明
平面図へ家具配置記入
承諾書 記名捺印
施工日 日程調整

各種申請書
近隣への配慮

模様替え申請等
近隣への声かけ

施工当日

施工キャンペーン
本部設置

隊員の割り振り
施工時の問題会議
隊員コミュニケーション

かぐてんぼう隊養成研修と派遣事業

- 施工キャンペーン

開催日：平成18年3月11・18・25日(土)

開催場所：守山区市営住宅本地荘(17件)

建物構造：鉄筋コンクリート造

建物種別：共同住宅

事前調査：畑中、児玉、二村(3名)

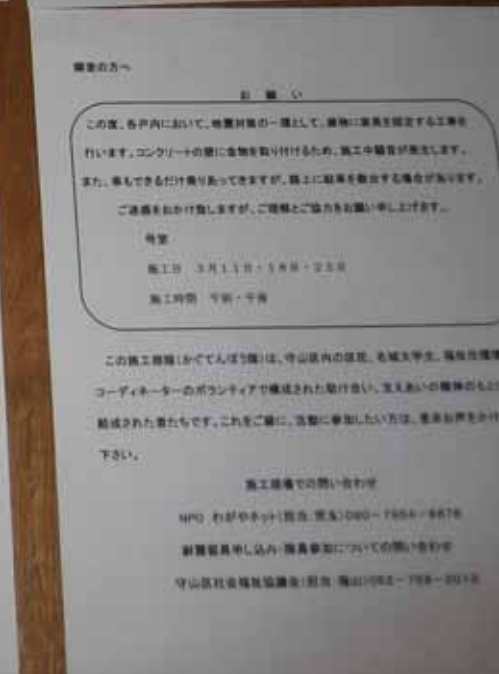
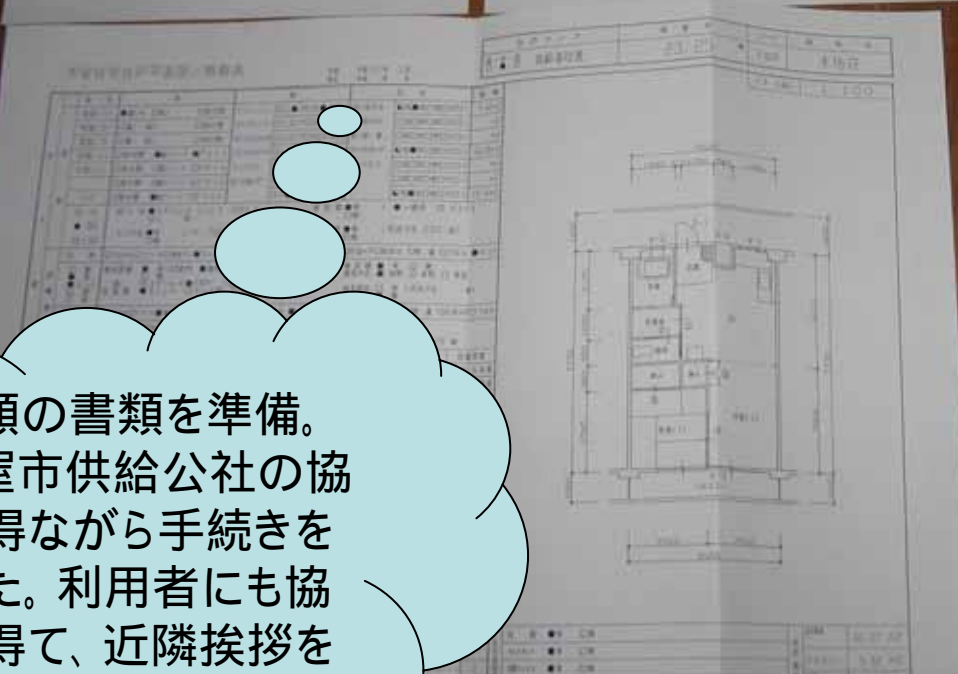
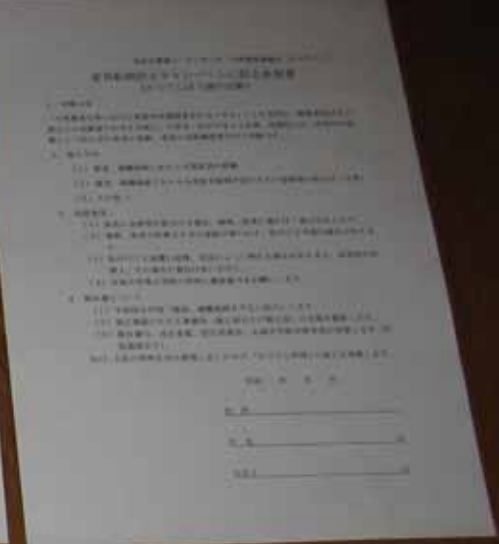
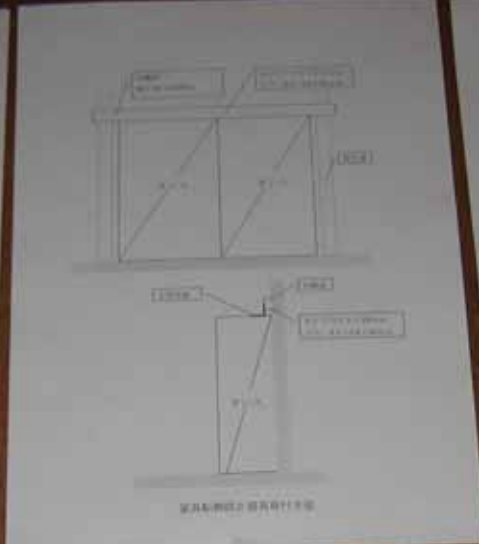
隊員参加人数：のべ57名



35棟ある市営住宅です。16件のお宅は皆別の棟でした。

現地調査は、利用者のと調査員の日程を調整しながら3日に分けて行った。
調査員 / 二村・畑中・児玉
電話連絡は児玉のみ。

5種類の書類を準備。
 名古屋市供給公社の協力を得ながら手続きを行った。利用者にも協力を得て、近隣挨拶をお願いした。



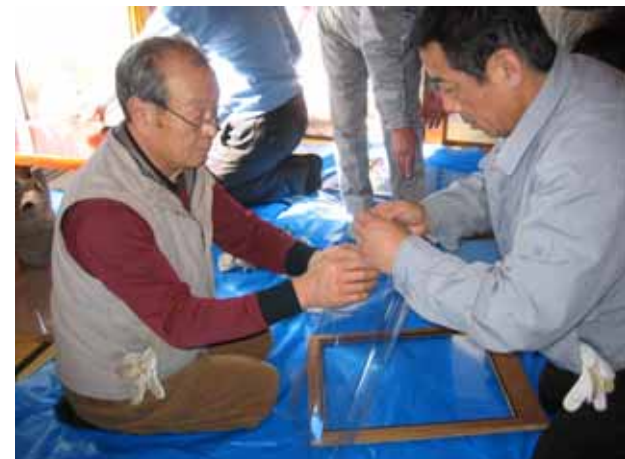


隊員割り振りと
諸注意を行
います。

分隊長は建築
の職人さん
たちです。

近隣トラブル
対応を現地
本部で行
います。





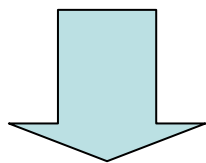
**KAGU
TEN**



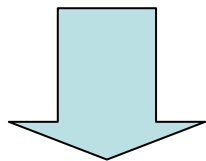
**Making not to
all down the furniture**

福祉住環境コーディネーターの 全国の仲間へ呼びかけ

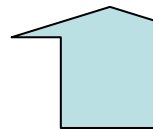
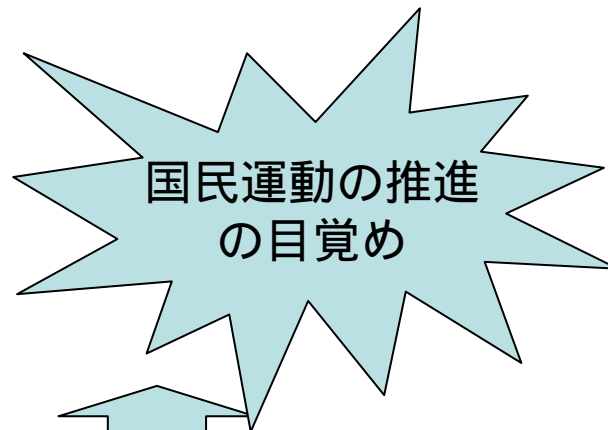
この後、私は高熱で
2週間倒れてしまいました。



その甲斐か？
愛知県人に優しい街づくり賞を
受賞しました。



その朗報を持って
名古屋市都市局、健康福祉局、
消防局とわたりありました。



地域住民を動かすことが
先決だと！



状況が分かりました。

第4章

かぐてんぼう隊普及活動



介護者・家族のための講座

- 天白区社会福祉協議会
- 稲沢市社会福祉協議会
- 瀬戸市生涯学習センター

施工講座

- 名古屋市シルバー人材センター
 - 東郷町社会福祉協議会
- ### かぐてんぼう隊養成講座
- 徳島市、NPO協働事業



徳島市協働事業 NPO法人阿波グローバルネット

地震対策 家具転倒防止 市民講演会

演 題

「安全確保のための住環境、そしてまちづくりへ」

講 演

福祉住環境コーディネーター中部推進協議会

(通称:わがやネット)代表 児玉道子氏

日 時

平成18年8月1日 午後6時～8時45分

場 所

徳島市役所13階第1研修室 駐車可

参加費

無 料 どなたでもご参加できます

徳島市へ



徳島市の状況を予
め調査を行った。
地震と津波が危惧
される。
自主防災組織と徳
島大学の学生が
熱い思いあり。

一般参加	44名
市役所職員	5名
NPOメンバー	8名
合計	57名

この人数は、徳島市役所
の方は予想外だったようです。



徳島市へ



- 市民講座参加者が家具固定施工講座を受講しました。
- 徳島大学の学生や、施工に関心のある人たちが集まった。
- 次は施工キャンペーンの実施です。

第5章

かぐてんぼう隊継続運営のために



運営課題

- 大工さんなどのプロの職人
参加 分隊長
- 隊員への費用支払い 交
通費、お弁当代
- 事務局運営のための諸費
用捻出 受講料でまかなう
- 施工検討会の開催
- 連絡網の充実
- 工具、資材置き場の確保



大工職人や建築士の参加

- 全建愛知(全愛知建設労働組合)

本部へ説明を行う 瑞穂支部から開始。

職人さんは、知識の提供

主役は地域のかくてんぼう隊

- 耐震化アドバイザー養成講座でのPR

講座前アンケートで、

電動ドライバー等の工具を持っている人 30%

家具固定施工の地域ボランティア活動意思 38%

家具固定をしている人 90%

家具固定を地域で広めたいという意思 48%



今後の課題

- 学生部隊を持続させるためには？
- 家具固定の講習 テキストの出版
市民講座
(概論的内容・家具固定の必要性)
かぐてんぼう隊の養成講座
- 施工キャンペーンのシステム化
- 地域の自主防災組織とキーパーソンの存在へPR
- 建築技術者は、サポーターに。
主役は地域住人とするために啓蒙活動推進

地道にコツコツ
危機管理を常に考えながら
よりよい道を見つけて
これからも活動をし続けてまいります。

ご指導をお願い申し上げます。
ご清聴ありがとうございました。

